

# 受注企業動向調査結果

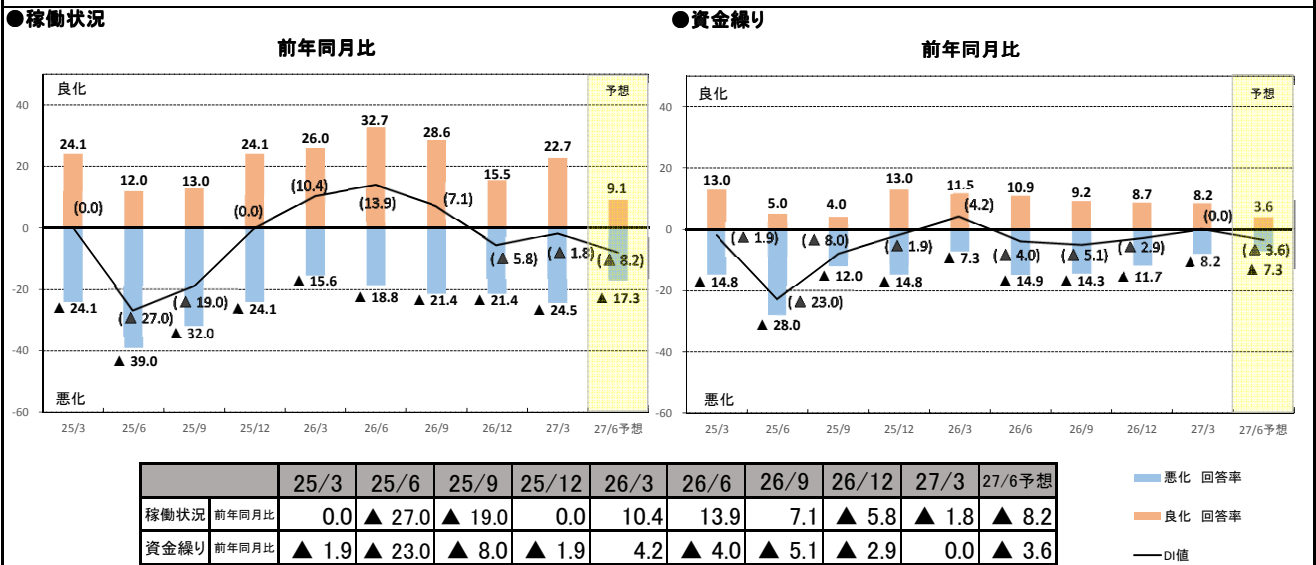
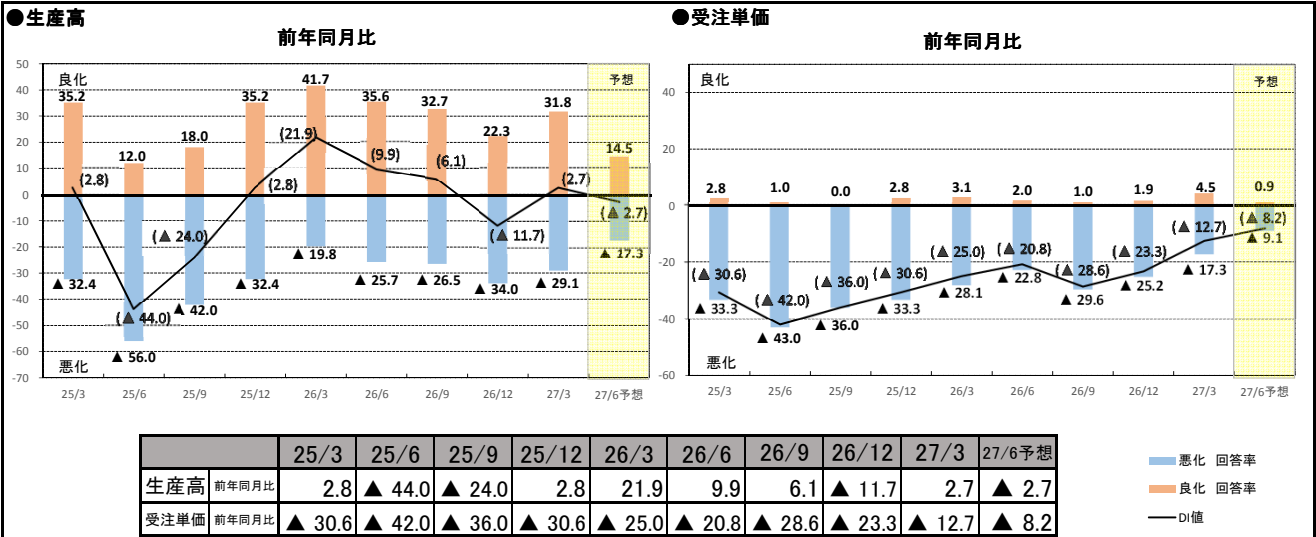
-2015.5-

- 調査時点 平成27年3月調査(平成27年3月末時点)
- 対象企業 150社
- 調査時期 4半期毎(3、6、9、12月末時点)
- 回答企業 110社(回答率:73.33%)

## <業種内訳>

プラスチック	9社
鉄鋼・非鉄	9社
金属製品	23社
一般機械器具	22社
電気機器	19社
輸送用機器	10社
精密機器	12社
縫製	6社
計	110社

DI(Diffusion Index)とは、景気の動きをとらえるための指標であり、良化と回答した企業の割合から、悪化と回答した企業の割合を減じた数値です。



### ●概要(総合)

- ・生産高(前年同月比)DIは(2.7)で前回の(▲11.7)から9.0ポイント増の良化となった。
- ・受注単価DIは(▲12.7)で前回の(▲23.3)から10.6ポイント増の良化となった。
- ・稼働状況DIは(▲1.8)で前回の(▲5.8)から4.0ポイント増の良化となった。
- ・資金繰りDIは(0.0)で前回の(▲2.9)から2.9ポイント増の良化となった。
- ・3ヶ月後の予想DIは生産高が(▲2.7)で5.4ポイント減の悪化、受注単価は(▲8.2)で4.5ポイント増の良化、稼働状況が(▲8.2)で6.4ポイントの減で悪化、資金繰りは(▲3.6)で3.6ポイント減で悪化という予想になった。
- ・業種によって新規案件の増加や円安の影響で国内へ生産拠点が戻ってきていることもあり、全体的に良化傾向である。しかし、今後は受注量が徐々に減少していき、先行きは不透明であると感じている企業が多い。また、人材の確保が厳しく、深刻な状況である。